

## ⑥ 感謝と敬意を込めて、簡単なあいさつ

「今日は我が家の教育方針と実践のお知らせに来ました。お時間を取ってくださってありがとうございます」。特に、「敵対」ではなく、感謝と敬意と説明責任を果たす姿勢を示すことが肝心です。

「憲法・法律（教育基本法・教育機会確保法）」と「“キリストへの信仰”や“聖書への確信”に基づく愛」「相手の方々への敬意・励まし」「謙遜さ」と「余裕」が大事です。

ポイントは「お知らせに来ました」という言葉です。「申請」ではなく、あくまでも「お知らせ（アップデート）」を目的とし、「関心を持ってくださるようであれば、分かち合いをさせていただく」というスタンスで伺うのがいいのではと思います。申請だと「許認可」をもらうみたいですが、別に認可がほしいわけではないからです。

そして短く「こんなに幸せで感謝しています！子どもも親も、もちろんこのまま継続していこうと思っています」という感じで伝えます（冒頭のあいさつは1～2分。手紙ならば3行ぐらいでしょうか。幼稚園の年齢から過ごしてきた様子、あるいはホームスクーリングを決意してからの数カ月の様子）。

「親子の絆」「学力」「社会性」「友達」「しつけ」「人格形成」「将来の目的意識」などが強化でき、祝福され、実を結び始めていること、親・夫婦としても反省しながらも成長できていること等、コンパクトに話されることをお勧めします。